

## 第21回教育研究審議会

### 議事概要

- 日時 令和2年3月2日(水) 午後4時00分～午後6時11分  
場所 本部棟3階 大会議室  
出席者 福田誠治学長、阿毛久芳副学長、新保祐司副学長、深澤祥邦事務局長、小林重雄理事、竹島達也大学院研究科委員長、西尾理学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、平野耕一学長補佐、樋口雄人学長補佐、加藤敦子国文学科長、Hywel Evans 英文学科長、山本芳美比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、春日尚雄地域社会学科長、野中潤図書館長(兼)情報センター長、廣田健教職支援センター長、竹下勝雄地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、豊嶋朗子語学教育センター長、矢嶋亘総務課長、石川和広経営企画課長、藤江隆学生課長  
欠席者 市原学入学センター長

福田学長より挨拶

## 2 議 事

- 担当者から中期日程入学試験におけるコロナウイルス対応について説明。
  - 他大学の対応状況はどのようになっているか。
  - 全体会議でも話をしたが埼玉県立大学は中止を決定しており、高崎経済大学は予定通り実施予定。
  - 少人数の試験会場があり試験監督などの実施体制について心配な部分があるが不測の事態の対応は検討しているか。
  - 職員等の配置体制を見直し対応予定であり、不測の事態には追試対応も検討している。
  - 追試の話が出たが可能な限り体調不良の受験生が来ないようにアナウンスが必要ではないか。
  - 追試対応については学生の体調不良について検討しているのではなく、本学の職員などの体調不良などによる実施体制不備の時などを想定している。
  - WHOによるパンデミックの発表や、日本政府対応を事由に本年度のみの扱いであることを前提に追試の検討をしたらどうか。
  - 追試の検討をするものとする。
  - 東日本大震災時には卒業式を実施せず授与式等のみとしたが、今回はその時と相違しており、大人数を一度に集められないことから更に簡素的に、また時間により人数も分散させることになると考えている。

- (1) 名誉教授候補者推薦書について(比較文化学科)1件  
○担当者から資料1に基づき説明。→提案どおり承認。

- (2) 専任教員の移籍について(比較文化学科) 1件(投票)  
○担当者から資料2に基づき説明。→2週間の閲覧に供し投票する。  
◇(准教授)
- (3) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について(英文学科) 1件  
○担当者から資料3-1に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。  
→提案通り承認。  
◇Listening&Speaking I A・Listening&Speaking II A・言語文化第一演習VI・言語文化第二演習VI・English Through Drama  
◆担当教員辞職のため  
○担当者から資料3-2に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料」について説明。  
→提案通り承認(予定1年間)。  
◇Japan Association For Self-Access Learning・Japan Association For Language Teaching  
新規採用 ランク S1
- (4) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について(比較文化学科) 2件  
○担当者から資料4-1に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。  
→提案通り承認。  
◇日本文化・社会論V  
◆現担当者の大学院担当による持ち替え  
◇比較文化第三演習VIII・比較文化第四演習VIII・卒業論文  
◆現担当者の退職による  
○担当者から資料4-2に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料」について説明。  
→提案通り承認(予定1年間)。  
◇日本国際政治学・ジェンダー史学・アジア女性資料センターなど  
新規採用 ランク A  
○担当者から資料4-3に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料」について説明。  
→提案通り承認(予定半年間)。  
◇歴史学研究会・東京歴史科学研究会・同時代史学  
新規採用 ランク A
- (5) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について(国際教育学科) 1件  
○原国際教育学科長から資料5-1に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。→提案通り承認。  
◇アメリカ社会とマスメディア  
◆未開講としたが担当可能講師が見つかったため  
○担当者から資料5-2に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料」について説明。  
→提案通り承認(予定1年間)。  
◇日本アメリカ史学・日本アメリカ学・歴史科学協議会・American Studies Association  
新規採用 ランク C
- (6) 非常勤講師採用候補者に係る資料について(学校教育学科) 3件  
○担当者から資料6-1に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料」について説明。  
→提案通り承認(予定1年間)。  
◇日本数学教育学  
新規採用 ランク A

○担当者から資料 6-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料」について説明。  
→提案通り承認（予定 1 年間）。

◇日本数学会・日本統計学  
新規採用 ランク B

○担当者から資料 6-3 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料」について説明。  
→提案通り承認（予定半年間）。

◇日本教育学・教育史学・日本教育方法学・日本臨床教育学  
新規採用 ランク C

(7) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（地域社会学科）1 件

○担当者から資料 7-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。  
→提案通り承認。

◇法律学 B・市民と社会 I（日本国憲法）

◆前任者該当科目辞退のため

○担当者から資料 7-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料」について説明。  
→提案通り承認（予定半年間）。

◇全国憲法研究会・憲法理論研究会  
新規採用 ランク C

(8) 国際交流について

○担当者から資料 8-1 に基づき説明。→提案どおり承認。

○担当者から資料 8-2 に基づき「専任教員の募集（推薦公募）について（語学教育センター・国際交流センター、計 3 名）」説明。→提案どおり承認。

→本提案は現在在職中の教員であり引き続いての採用が前提であるのか。

→3 名とも無期転換労働の関係もあり、引き続き勤務を希望するのであれば雇用を続けるものであり、引き続きの希望がなければ別途公募するものではない。

(9) 令和元年度「教員選考委員会」の構成について

○第 18 回教育研究審議会において提案された、学校教育学科への専任教員採用人事について教員選考委員会を組織する。

●上記教員選考委員決定

(10) 令和 2 年度 開講科目について（比較文化学科）

○担当者から資料 10 に基づき説明。→提案どおり承認。

(11) 令和 2 年度 非常勤講師授業担当科目について（第 11 回）

○担当者から資料 11 に基づき説明。→提案どおり承認。

(12) 令和 2 年度 非常勤講師授業担当科目について（取消）（第 1 回）（専攻科）

○担当者から資料 12 に基づき説明。→提案どおり承認。

(13) その他

○担当者から資料に基づき「重点領域研究費交付金における研究領域の見直しについて」説明。  
→提案どおり承認。

### 3 報 告

(1) 都留文科大学自己点検・評価実行委員会規則の一部改正について

○担当者1から資料13に基づき説明。

担当者2から補足として来年度4月以降の新執行部体制になった際には再度改正の必要が生じる場合もある旨説明。

(2) 国際交流センター及び国際交流会館の配置換えについて

○担当者から資料14-1及び14-2に基づき説明。

(3) その他

○担当者から大学的富士山ガイド出版について報告。

### 4 その他 ○なし

### 5 閉 会

以 上